

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 01-256230

(43)Date of publication of application : 12.10.1989

(51)Int.Cl.

H04B 1/16

(21)Application number : 63-084563

(71)Applicant : CLARION CO LTD

(22)Date of filing : 06.04.1988

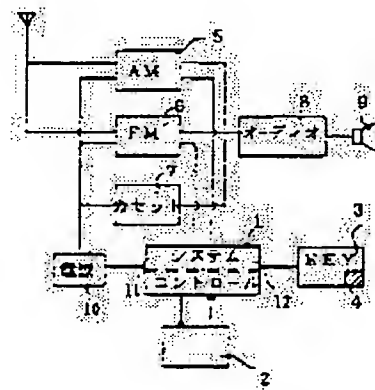
(72)Inventor : FUJIWARA TOSHIHARU

(54) RECEIVER WITH CHANNEL SELECTION DEVICE FOR TRAFFIC INFORMATION STATION

(57)Abstract:

PURPOSE: To automate the restoration of the state into the operating state before the reception of a traffic information station by detecting it that the traffic information station does not make traffic information broadcast, storing the stored operating state of a receiver so as to restore the receiver into the stored operating state after a prescribed time.

CONSTITUTION: A storage means 2 stores the state of the receiver just before the reception of traffic information and a restoration means 12 restores the receiver into the operating state stored in the storage means 2 when no traffic information is broadcast or after the traffic information is received for a prescribed time. Thus, the receiver is restored in the original state without any new operation. Then the receiver is restored automatically to the operating state just before the reception of the traffic information station in the absence of the broadcast of the traffic information station or at a prescribed time after the reception of the traffic information station.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

平1-256230

⑬ Int. Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成1年(1989)10月12日

H 04 B 1/18

M-6945-5K

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

⑮ 発明の名称 交通情報局選局装置を備えた受信装置

⑯ 特 願 昭63-84563

⑰ 出 願 昭63(1988)4月6日

⑱ 発 明 者 藤 原 利 春 東京都文京区白山5丁目35番2号 クラリオン株式会社内

⑲ 出 願 人 クラリオン株式会社 東京都文京区白山5丁目35番2号

⑳ 代 理 人 弁理士 高 橋 清 外1名

明 細 書

1. 発明の名称

交通情報局選局装置を備えた受信装置

2. 特許請求の範囲

交通情報局選局手段と、

交通情報局選局手段が動作する直前の受信装置の動作状態を記憶する手段と、

交通情報局が交通情報放送を行っていないことを検出して、該記憶する手段に記憶された受信装置の動作状態に復帰させる手段と、

交通情報放送受信後、所定時間後に前記記憶した受信装置の動作状態に復帰させる手段と、

を有することを特徴とする交通情報局選局装置を備えた受信装置。

3. 発明の詳細な説明

<産業上の利用分野>

この発明は交通情報局選局装置を備えた受信装置に関する。

<従来の技術>

カーラジオやカーオーディオ等の車両用の受信

装置において、交通情報を受信するために交通情報局選局装置を設けたものが知られている。

交通情報は高速道路の一部区間などにおいて路側から中波放送帯の所定の周波数(日本国内では522、1611、1620、1629KHz)で放送されており、交通情報局選局装置は交通情報局選局用のボタンを操作することにより、所定の周波数の交通情報局を選局する構成になっている。

<発明が解決しようとする課題>

しかし、従来の受信装置の交通情報局選局装置は通常の放送などを受信していたり或はカセットデッキを使用していた場合には、交通情報を受信後に元の放送に復帰したりカセットデッキの使用に復帰するために、その都度新たな操作を必要とする欠点があった。

本発明は上記した従来の交通情報局装置を備えた受信装置の欠点を改善することを目的とする。

<発明の概要>

上記した目的を達成するために本発明は交通情

報局選局手段と、交通情報局選局手段が動作する直前の受信装置の動作状態を記憶する手段と、交通情報局が交通情報放送を行っていないことを検出して該記憶する手段に記憶された受信装置の動作状態に復帰させる手段と、交通情報放送受信後所定時間後に前記記憶した受信装置の動作状態に復帰させる手段とを有することを基本的な特徴とするものである。

<作用>

記憶する手段は交通情報を受信する直前の状態を記憶し、復帰させる手段は交通情報が行われていないとき、或は交通情報を所定時間受信した後、記憶する手段に記憶された動作状態に受信機を復帰させる。これにより、新たな操作を行うことなく受信装置を元の状態に復帰させることができる。

<実施例>

以下本発明の一実施例を図面に基づいて説明する。

第1図において受信装置を構成するAM受信部5、FM受信部6、カセットデッキ部7はマイク

交通情報局選局部11と復帰部12とを有している。交通情報局選局部11は交通情報局選局ボタン4の操作があった場合、AM受信部5をコントロールして交通情報局を選局して受信を行わせる。受信の際にこの実施例では、交通情報を行っている周波数をシークしてその周波数を受信するように構成している。従来の装置では予めプリセットしておいた1の交通情報局しか受信できず、他の周波数の交通情報局を受信するためにはその周波数に再度プリセットし直す必要があり、本実施例ではこの欠点を改善したものである。

制御装置1はAM受信部5に交通情報局を受信させるに際して、受信装置の状態をメモリ2に記憶させる。即ち、受信装置がオフであれば、オフであることを記憶させ、又AM受信部5、FM受信部6による受信中であればその受信周波数を記憶させる様に構成されている。又、カセットデッキ部7が動作中であればその動作状態を記憶するように構成されている。

制御装置1は交通情報局選局部11による交通

ロコンピュータを主体に構成される制御装置1に制御されており、所定周波数の放送を受信し、オーディオ回路8を介してスピーカ9にて音声化する構成になっている。また、カセットテープはカセットデッキ部7において再生され同様にオーディオ回路8を介してスピーカ9により音声化される。

制御装置1は操作部3を有しており、操作者はこの操作部3を操作することにより、受信装置の種々の操作を行うようになっている。操作部3には交通情報局選局ボタン4が備えられており、この交通情報局選局ボタン4を操作することにより、AM受信部5に予め決められた交通情報局を受信させることが出来るように構成されている。

制御装置1はメモリ2を有しており、AM受信部5に交通情報局を受信させる際に受信装置の状態をこのメモリ2に記憶させることが出来るように構成されている。制御装置1は更に電源10を備え、受信装置のオン・オフの制御も行っている。

制御装置1は受信装置の制御部を有すると共に、

情報局の選局が行われなかったとき、即ち交通情報局による交通情報の放送がないとき、又交通情報局を受信して所定時間経過した後復帰部12を稼働してメモリ2に記憶した交通情報局受信前の動作状態に受信装置を復帰させるように構成されている。即ち、受信装置が交通情報局受信前にオフであれば受信装置をオフにし、AM受信部5、FM受信部6で所定の放送を受信中であれば、その周波数の受信に復帰させる。又、カセットデッキ部7動作中であれば、そのカセットデッキ部7の動作に復帰させるようになっている。さらに、制御装置1は交通情報局選局ボタン4が2回操作されたときは交通情報局受信後所定時間が経過しても交通情報局の受信を継続して、必要があるときは交通情報局を受信し続けることが可能のように構成されている。

次に第2図に基づいて交通情報局選局装置の動作を説明する。

制御装置1は交通情報局選局ボタン4が操作されたか否かを絶えずチェックし(ステップ20)。

交通情報局選局ボタン4が操作されたときは現在の受信装置の動作状態をメモリ2に記憶させる(ステップ21)。そしてシーク動作を開始し(ステップ22)、交通情報局の周波数を順次シークして放送がある周波数で停止してその周波数の受信を行う(ステップ23、24、25)。受信の際にはタイマのセットを行う(ステップ26)。全ての周波数をスキャンしても交通情報局放送を行っていない場合にはメモリ2に記憶した動作状態を読みだして、復帰部12を稼働させて交通情報局受信直前の動作状態に受信装置を復帰させる(ステップ30)。

交通情報局受信中は交通情報局選局ボタン4が再度押されたか否かをチェックし(ステップ27)、またタイマに設定した所定の時間が経過したか否かをチェックする(ステップ27、28)。所定時間が経過したらメモリ2に記憶した動作状態を読み出して復帰部12を稼働させて交通情報局受信直前の動作状態に受信装置を復帰させる(ステップ30)。

各周波数を順次シークしていくため、確実に交通情報局を受信することが出来る。更に、第3図に示す実施例の場合には交通情報局の継続受信中に簡単に受信機を交通情報局受信前の状態に復帰させることが出来る。

<発明の効果>

以上説明したように本発明の交通情報局選局装置を備えた受信装置は、交通情報局選局手段と、交通情報局選局手段が動作する直前の受信装置の動作状態を記憶する手段と、交通情報局が交通情報放送を行っていないことを検出して該記憶する手段に記憶された受信装置の動作状態に復帰させる手段と、交通情報放送受信後所定時間後に前記記憶した受信装置の動作状態に復帰させる手段とを有しているため、従来複雑な操作が必要であった、交通情報局受信前の動作状態への復帰を自動的に行わせることが出来る。そのため、交通情報局受信に際しての受信装置の操作がきわめて簡単になる効果がある。

4. 図面の簡単な説明

ステップ27で交通情報局選局ボタン4の操作が再度行われたことを検出したら、タイマの作動を停止し、現在受信中の交通情報局の受信を継続する。これにより、交通情報局を受信し続けたい場合には交通情報局選局ボタン4を2回操作することにより交通情報局の受信を継続することが出来る。

第3図に示すフローチャートはステップ29の後にステップ31を加えたもので、交通情報局を継続受信中に操作部3のボタンやスイッチの何れかを操作することにより、交通情報局受信前の動作状態に直ちに復帰できるように構成したものである。

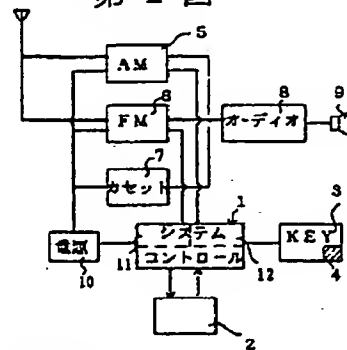
以上のように上記構成では、交通情報局の放送がない場合や、交通情報局受信後に所定時間経過したら交通情報局受信直前の動作状態に受信装置を自動的に復帰させることができる。また、交通情報局選局ボタン4を2回操作することにより、交通情報局の受信を継続することも可能である。また、交通情報局の周波数が多数ある場合にも、

第1図は本発明の一実施例を示すブロック図、第2図はその動作を説明するフローチャート図、第3図は他の実施例の動作を説明するフローチャート図である。

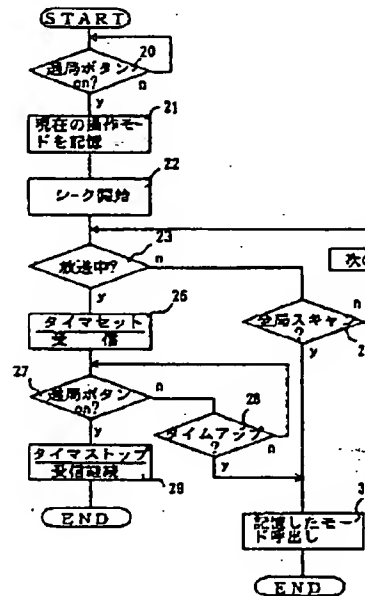
1:制御装置、2:メモリ、3:操作部、4:交通情報局選局ボタン、5:AM受信部、6:FM受信部、7:カセットデッキ部、8:オーディオ回路、9:スピーカ、10:電源、11:交通情報局選局部、12:復帰部。

特許出願人 クラリオン株式会社
代理人 弁理士 高橋 清 外1名

第1図



第2図



第3図

